

# 国家技能検定2, 3級旋盤加工作業

National Skill Test Level 2, 3 Lathe Work

甲府工業高等学校 機械科 齋藤 穂野香 千田 真聖 幡野 晃太  
清水 亜星 刘 春阳 若杉 日椰  
指導教員 望月 建  
外部指導者 高度熟練技能者 森田 久義

## 1. 研究概要・目的

・国家技能検定 旋盤加工作業2, 3級に挑戦！  
技能検定とは、働くうえで身につける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度です。  
・本パートでは機械科の実習3年間学んだ総まとめとして国家技能検定に取り組み専門的知識を深めることを目的としています。

## 2. 内容取り組み

・1週目～3週目までは外部指導者に詳しい作業内容や、作業上の注意点を教わりました。作業を進めていく中で最初の内は、ミスや作業の遅れが全体的に多く見られ検定のハードルの高さを目の当たりにしました。また、技能検定では、メス型の製作があり最初は、メス型内部が目視できない中での側面加工や面取りに苦戦していましたが、回数を重ねることで、感覚を掴み克服することが出来ました。加えて、2級作業では4つ爪の単動チャックにチャッキングをする際にその都度心出しを行います。単動チャックは4つの爪がそれぞれ単独に動くため材料を掴む際に必ず心出しをしなければなりません。そのため最初の頃はチャッキングに時間がかかってしまい試験時間内に作成することができませんでした。しかし数をこなすことでコツを掴み、学校内で行われた模擬試験では全員が合格点を出すことが出来ました。



## 3. 成果・反省

・学校内で行った模擬試験では、全員が合格点を取ることができ良い結果を残し終わることが出来ました。  
・2学期からは技能試験を確実にするために継続して練習に励むものや、フライスパートと入れ替わり別の技能試験に挑戦するなどの本パートの目標であるスキルアップに向けて1人1人が積極的に活動することが出来ました。後期の技能試験は行われるので良い結果を残せるように、今後も引き続き頑張りたいと思います。前期で受けていた人が後期に受ける人にお互い教えあうことで理解を深めることができたと思います。旋盤の試験は難しかったがよい経験になったと思います。進路先でもこの経験を生かして技術力を高めていきたいです。



## 4. アドバイス

・実習内で行う旋盤では授業の時間に限りがあるため、出来る加工が限られてしまいます。しかし課題研究では毎週3時間の時間を検定の練習に充てるのが出来ます。3年間機械科の実習で学んだことの集大成として、国家技能検定に挑戦することで自分のスキルアップにつながると思います。また、国家技能検定に合格すれば自分の進路にも有利になると思います。少しでも気になった方は来年度の課題研究に挑戦してみてください。